

郵便法中改正法律案特別委員會會議事速記録第一號

昭和十七年二月五日(本曜日)午前十時十分開會

○委員長(子爵清岡長言君) ソレデハ開會致シマス、前回ニ引續キマシテ御質問ヲ願ハウト存ジマス、最初遞信ニ關スル法案ノ御質疑ヲ願ヒマス

○田所美治君 大概私ハ此ノ間伺ヒマシテ了解致シマシタガ、マア此ノ時局デ郵便料モ増シテ收入ヲ殖ヤサウト、斯ウ云フヤウニマア單純ニ第一ニ考ヘラレマシタカラ、其ノ方ノ部面デ御尋ラシマシタガ、説明ヲ聽キマスト云フト、國家財政ノ寄與ト、ソレカラ事業ノ調整ト、斯ウ二段ニ御分チニナツテ居リマス、事業調整ノ方ハ、私ノ方ノマア昔ノ行教ノ經驗カラ、別ニ御尋ラシナカッタノデアリマスガ、何カ特ニ御書キニナツタ二ツノ理由ニナサイマシタ關係ガ、ドシナ内容デゴザイマスガ、ソレヲ伺ヒテ見タ

イ、事業ノ調整ト云フヤウナコト、是ハ郵便料ハ實ハドウセモウ十錢ニシヨウガ安イト斯ウ云フモノデ、マア國庫ガ是デ收入ヲ計ラウト云ヘバ、是程簡易モノハナイダラウト思フノデアリマスガ、併シマア郵便ノ起リカラ云ヘバ、公益事業ト云ヒマスガ、公益ノ關係カラ來テ居ルノデアリマスカラ殊ニ安イ、二錢トカ三錢ガ今度上ツテ五錢、斯ウ云フ譯デアリマスガ、是ハマア實費支辨トカ或ハ手數ニ關スルマア事業費ノ關係ヲ支辨スルニ足ルダケノ最低額ヲ御取リニナツテ居ルト云フコトダケデ、マア日本ダケデナク列國ガヤツテ居ルノデアリマスガ、今

度ハマアソレモ國家財政デ出ス、四千萬圓デアリマスガ、アト残りハマア事業ノ調整ト……何時モ郵便料金ニ關スルコトハ、此ノ前ニモ私何カ關係致シマシタガ、矢張り事業關係ノ改善充實、斯ウ云フ方ニ御考ニナラウト思フ、今度モ僅ニ一錢上ルノデ、矢張り事業ノ調整ト云フコトヲ御書キニナツカ、斯ウ御尋ネ致シマス

○國務大臣(寺島健君) 事業ノ調整ト云フコトノ内容ニ付テノ御尋デアリマスガ、是ハ郵便料金ノ中カラドレダケノ事業調整ヲヤルト云フハキリシタコトハムツカシイノデアリマスガ、電氣通信ノ料金ト併セマシテ考ヘテ行ク方ガ適當デゴザイマスガ、内容ト申シマシテ一番ノ金額ノ大キイモノハ、今回政府ニ於キマシテ家族手當ヲ增加スルコトニ致シマシタ、是ハ一般會計ナラバ其ノ方デノ支出ガ出來マスルガ、特別會計デアリマスルノデ、前ノ收入カラソレヲ持ツテ行カナケレバナラス、其ノ方ニ充テル額ガマア家族手當、マア待遇ニ若干補正ヲ致シマス方ニ使フ金額ガ一番多イノデアリマス、仍テマア通信ノ方ノ能率ヲ擧ゲテ行キタイ、斯ウ云フノガ主デアリマス、其ノ外ノ色々施設ニ於キマシテモ、防空ノ施設トカ、サウ云フモノニ色々使フノデゴザイマスガ、サウ云フ意味ニ使ヒマシテ、以テ通信ノ規正ヲ能クヤツテ行カウト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○田村美治君 是ハマア列國ノ比較ヲ此ノ

間伺ヒマシタガ、一番安イノデ「フランス」ノガ九錢、今度五錢ニ對スル九錢ト云フコト、英獨アタリニナルト、二十錢ト云ヒマシタカ、二十錢内外、可ナリ殖エテ居リマスガ、是ハマア又御上ゲニナルト云フコトノ御考ハ、必要ニ應ジテモウ少シヤツテモ或ハ宜カッタカモ知レマセヌ、六錢位ニナツテモ安イヤウニモ考ヘルノデアリマスガ、五錢ノ程度ニ御止メニナリマシタ譯如何、御聽キスルノハ、千九百萬圓トカ出ルト云フコトデスガ、國家財政ニ、寄與ト云フコトヲ御考ニナレバ、或ハ六錢位ニデモ御考付キナカッタモノデゴザイマセウカ、殊ニマア今御説明ノ家族手當ノ増加或ハ防空施設ト云フ財源モマリマスマイケレドモ、ソシナコトヲナサレバ五錢ノ程度ハ誠ニ有難イノデアリマス、收入増ヲ國家財政ノ戰時寄與ト、モウ一ツ伺ヒテ見タイノハ、戰時ガ濟ミマシタラ平時ニ復シテ來レバ四錢ニ下ゲルト云フコトハムツカシイノデアリマセウガ、是ハ戰時中ノ臨時増稅ニ伴フヤウナ財政寄與ト云フ風ニ、了解シテ宜シウゴザイマスガ、或ハ五錢ハ恒久的ノモノデ、サウデモ宜カラウト思フノデアリマスガ、其ノ邊ノ御考ヲ承テ見タイト思ヒマス

○國務大臣(寺島健君) モット高クシタラドウカト云フ、又外國ノ例モ比較シテ見テ安過ギヤセスカト云フ、此ノ戰時ニ於テハモット取ツテモ宜イト云フ御説ト思ヒマスガ、是ハ成程「ドイツ」ノ如キモ今ノ貨幣ノ換算ニ於キマシテ二十錢デアリマスルケレドモ、

イツハ市内郵便ハモット安イノデアリマシテ、十三錢ニナツテ居リマス、二十錢ト云フノハ市内デナクテ市外ノ料金デゴザイマス、其ノ外ニモサウ云フ風ニ區別シテ安イノモアリマスル、今迄ノ貨幣ノ價值ノ換算ト云フダケニ行キマセズ、色々考ヘテ見マシタガ、根本的ニ通信料金ト云フモノハ、出來レバ政府事業トシテ公益ニヤツテ行クノデアルカラ安イ方ガ宜イノデアル、手數料ヲ賄ツテ行ケバ宜イノデアルト云フ一方根本的ノ主義ハアリマスガ、國家財政ト云フコトヲ考ヘテ見マスルト、之ニ依ツテ之ニ寄與スル、今御説ノ如ク斯ウ云フ戰時ダカラモット寄與シタラドウカト云フ御考ハ御尤デアリマスガ、既ニ通信合計カラ一般會計若クハ臨時軍事費ニ繰入レテ居リマスモノハ、年々多額ノモノヲ繰入レテ居リマス、今回ニ於キマシテハ一億四千萬圓、今度ノ値上ダケデ寄與シテ居ルノデアリマセズ、通信事業ニ於キマシテ特別會計ガ出來テカラ、年々八千二百萬圓ト云フモノヲ一般會計ニ繰入レテ居リマス、其ノ外ニ戰時ニナリマシタノデ、臨時軍事費ノ方ニ今度約六千萬圓程寄與スルコトニナツタ、サウ云フ次第デゴザイマスカラシテサウ云フ各種ノ點ヲ睨ミ合セマシテ、今度ノヤウナ料金ニ致シマシタ次第デゴザイマス

○田所美治君 今一億四千萬圓ト云フ御話ニナリマシタノハ、何時カ數年前デアリマシタカ、遞信大臣ハドナダデアリマシタカ、普通會計ノ方ノ八千五百萬圓デアリマシ

カ、アレハ其ノ儘ニナツテ居リマスカ、ソレニ今度六千萬圓出ル譯デスネ、此ノ間四千萬圓トカ何ヒマシタガ、マダ其ノ外ニ二千萬圓程デゴザイマスカ

○國務大臣(寺島健君) 四千五百萬圓ト申上ガマシタノハ、今度ノ通信料金ノ値上フ中カラ四千萬圓出ス、其ノ外ニ從來一般會計ニ繰入レテ參リマシタ八千二百萬圓、ソレニ約二千萬圓程ノモノガ又別ニ今度ノ大東亞戰爭ニナリマセヌ前カラ臨時軍事費ノ方ニ繰入レテ居リマシタ、ソレヲ合セマシテ一億四千萬圓トナリマス

○田所美治君 戰時デ餘裕ガアルカラ一錢増シテ此ノ際五錢ニスルト云フコトデアリマシタガ、是ハ戰後ニモヤル恆久的ノモノデ、臨時的ノモノデハナイト斯ウ考ヘテ宜シウゴザイマスカ、將來ニ互ツテヤル、五錢ナラバ安イモノデゴザイマスガ、サウ御考ニナツテ居ル澤デゴザイマセウナ

○國務大臣(寺島健君) 左様デゴザイマス○田所美治君 此ノ法律ノ改正以外ニ省令等デ御改正ニナル書留トカ何トカ色々アリマセウガ、特殊郵便ト云フ御説明ガアリマシタガ、多分ソレダラウト思ヒマス、サウ云フモノモ矢張り「ミニマム」ナ「レイト」デオヤリニナツタノデ、法律ノ御説明ノ中ニサウ云フヤウナ意味ノコトガアツタヤウデスガ、莫大ニ御禮ヤシニナルト云フヤウナコトデハゴザイマス、四錢、五錢位ノ所デ御決メニナルト斯ウ諒解シテ宜シウゴザイマセウカ

○國務大臣(寺島健君) 此ノ前申上ゲマシタ通り、大體二割五分ノ平均デゴザイマス、其ノ中率ノ多イト云フノハ、例ヘバ新聞ナド今迄五厘デアリマシタノヲ、貨幣制度カ

ラ考ヘマシテモ五厘ト云フヤツハ安イ、サウ云フ點ヲ考ヘルト率八十割ニナリマスガ、之ヲ一錢ニシタ、斯ウ云フヤウナモノモアリマス

○田所美治君 郵便貯金ノ方デモ伺ツテ宜シウゴザイマスカ

○委員長(子爵清岡長言君) 宜シウゴザイマス

○田所美治君 逓信大臣ニ念ノ爲ニ伺ヒマスガ、命令案ヲ拜見スルト一圓ト二圓デゴザイマシタカ、只今ノ郵便貯金ハ五十錢位ノモノモアツタヤウニ思ツテ居リマスガ、今度ノ割増金附貯金切手ハ一圓、二圓ニナサレマシタガ、矢張り廣ク掻キ集メルト云フ方カラ考ヘマスレバ、五十錢位ノ所モ御置キニナツテ置イタラドウデアラウカト思ヒマスガ、私ハ貯金ノコトハ能ク分リマセヌガ、餘リ面倒ダト云フ御考デゴザイマセウカ、五十錢位ノ所モアツテモ宜イヤウニ思ハレルノデアリマスガ……

○國務大臣(寺島健君) 郵便貯金ノ最低額ハモット低カッタノデアリマスガ、五十錢ニナツタノデアリマス、併シ五十錢ト云フコトヨリ今度ノ狙ヒ所ハ大分國民ノ經濟生活モ向上シテ居リマスノデ、此ノ際浮動ノ資金ヲ集メルト云フ意味カラ致シマシテ、五十錢トスレバ非常ナ手數ガ掛リマスノデ、實際ハ二圓位ノ程度ニ致シタカッタノデアリマスガ、一圓デモ餘裕ガアツタラ貯金ヲシ、同時ニ之ヲ割増金附ト云フノデ、所謂富籤ノ弊ヲナクシテ、貯蓄ヲシテ元金ハ必ズ還テ來ル、貯金ニナツテ行ク、此ノ僅カナ郵便利子ノ數箇年間ノ僅カナモノヲ纏メタモノヲ發行シテ、直チニ抽籤ヲヤツテ當籤者ニソレダケノ樂シミヲ與ヘルト云フ處ヲ狙ツタ

○田所美治君 此ノ表ニアルカモ存ジマセヌガ、只今五十錢ノ單位デ貯金シテ居ル者ガ隨分アルダラウト思ヒマス、其ノ五十錢ヲ御廢メニナツテ集マリニクイト云フヤウナコトハゴザイマス、郵便貯金ヲヤツテ居ル者ハ零細ナモノダラウト思ヒマスガ、只今ノヤウナ御説明デハ一圓ニナサル前ニ矢張り五十錢ニシテ置イテモ宜カッタヤウニ思フノデアリマスガ、手續ノ煩瑣ナコトハ同ジダラウト思ヒマス、五十錢ヲ御廢メニナツテ宜シイノデゴザイマスカ

○國務大臣(寺島健君) 當局ノ考ヘテ居ル所ハ郵便貯金ニ纏メテ貯金帳ヲ渡シタリ或ハ預リ證ヲ渡シタリスルコトニ致スノデアリマスガ、一圓、二圓毎ニ一々渡シテ行ク譯ニハ行カナイノデ、切符ヲ纏メテ來テ、ソレヲ定期貯金ニスルト云フ風ニ導イテ行キタイト思ヒマス、ソレデ相當ノ手數ガ掛ルノデ、五十錢ニスルト云フコトハ御趣旨ハ誠ニ結構デアリマスガ、今日ノ狀態カラ見マス、一圓ヲ五十錢ニ下ゲタラ非常ニ集ルカト云ヒマス、其ノ點ハ大シタコトノナイヤウニ感ジテ居リマスノデ、一圓、二圓ガ適當ト思ツテ居リマス

○田所美治君 割増金ハドノ位デスカ、最高額ハ拜見出來ナイヤウデアリマスガ、割増金ノ最高額ハドノ位デスカ

○國務大臣(寺島健君) 只今ノ處、案ト致シマシテハ、二圓ノ切手ニ付テ當籤シタ最高額ハ千圓デアリマス、從ヒマシテ一圓ノモノデ當籤シタモノハ五百圓ト云フコトニナリマス

○委員長(子爵清岡長言君) 逓信省ニ關ス

ル分ニ付キマシテノ御質疑ハゴザイマセヌカ……御質疑ナイト認メマス、鐵道省ニ關スル御質問ヲ願ヒマス

○男爵神山嘉瑞君 今度敷設法ノ改正ヲナサレマシテ、二十六「キロ」餘ノ鐵道ヲ追加サレルコトニナツタノデアリマス、是ハ大臣ノ御説明ノアリマシタ通り、國內ノ鐵道資源獲得ノ爲、是等ノ地帯ガ非常ナ有望ナ「マシガン」地帯デアルト云フ意味カラ之ヲ追加サレマシテ、建設サレルノデアリマス、誠ニ結構ナコトデアルト思ヒマス、就キマシテハ、斯ウ云フヤウナ路線ト申シマスノハ、他ニモ相當アルカドウカ存ジマセヌガ、現在ノ敷設法ニ載ツテ居リマス多數ノ豫定線路、其ノ豫定線ト云フモノハ、全部ガ全部斯ウ云ツタ時局ニ適シテ居ル地帯デモナイヤウニ考ヘルノデアリマス、併シサウ云ツタ現在多數ノ「殘」テ居リマス豫定線路ト云フモノハ、逐次建設サレテ行クノデアラウト思ヒマスガ、是ハ長イ時代ニ於テヤツテ行クコトデアリマシテ、急ニ片付クモノデナイト思ヒマスガ、今後、現在敷設法ニ載ツテ居リマスサウ云ツタ多數ノ豫定線ト云フモノヲ整理サレルト申シマスガ、敷設法ヲ全面的ニ改正ナサルト云フ御意思ガアルカドウカト云フコトヲ承リタイト思ヒマス

○國務大臣(八田嘉明君) 只今御尋ノ點ハ、一口ニ申シマスレバ、現在豫定線トシテ載ツテ居リマスモノニ對シマシテハ、鐵道省トシテハ之ヲ再檢討致シタイト考ヘテ居リマス、既ニ每議會デ或ハ御承知ト存ジマスガ、鐵道省ニ於キマシテモ數年前カラ新シイ眼ヲ以テマシテ豫定線ヲ調査ヲ致シテ居リマス、其ノ結果ガ纏リマシタナラバソレニ基キマシテ新シイ考案ヲ致シタイト考ヘテ居

○國務大臣(寺島健君) 只今ノ處、案ト致シマシテハ、二圓ノ切手ニ付テ當籤シタ最高額ハ千圓デアリマス、從ヒマシテ一圓ノモノデ當籤シタモノハ五百圓ト云フコトニナリマス

○委員長(子爵清岡長言君) 逓信省ニ關ス

ル分ニ付キマシテノ御質疑ハゴザイマセヌカ……御質疑ナイト認メマス、鐵道省ニ關スル御質問ヲ願ヒマス

リマス、本年度ノ豫算ニモ其ノ調査費ヲ多
分ク「キロメートル」位デシタカ計上致シテ
居ル筈デアリマス、尙今日迄ハサウ云フ考
ヘ方デ、唯豫定線ヲ豫定線トシテ再檢討ス
ル、斯ウ云フ考デ進ンデ参リマシタケレド
モ、昨年以來ノ新シキ我が國ノ東亞ニ於ケ
ル情勢ニ基キマシテ、更ニ廣イ立場カラ、
何ト申シマスカ、國內ノ運輸交通ト云フ觀
點カラト、廣ク見テ参リマシタ我が國ノ必
要ナル國防資源竝ニ國民生活必需品ノ確保
ト云フ意味ニ於キマシテ、從來ノ豫定線バ
カリデハナク、國內ノ總テノ鐵道交通機關
ニ對シマシテ新シキ眼ヲ以テ將來ニ向ッテ
出發シテ見タイ、斯ウ考ヘテ居リマス、大
體ニ於キマシテハ豫定線ニ關スル限リニ於
キマシテハ是非再調査ヲ遂ゲマシテ、繼續
致シマシテ國運ノ向フ所ニ合致スルヤウニ
シテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリ
マス、尙只今御審議ヲ願ッテ居リマスル豫定
線追加ト云フ問題ハ、御話ノ如ク今日ノ目
的ノ時局要求ニ應ジマシテ、「マンガン」鑛
ノ開發ヲ主タル目的ト致スノデアリマスル
レドモ、同時ニソレハ一般交通、産業ノ開
發ニモ資スル積リデアリマス、ソレカラ此
ノ問題ニナッテ居リマセヌガ、豫算ニ計上サ
レテ居リマスル新線ノ二本モ矢張り地下資
源開發ニ今回ハ目的ヲ置イテ居リマス、併
シナガラ將來ニ於キマシテ何時モ地下資源
ヲ掘フト云フ譯デアリマセヌ、今回特ニ時
局ニ際シマシテ、「マンガン」鑛ノ不足ヲ國內
ニ於テ出來ルダケ補ヒタイト云フ考カラ、
關係官廳、民間ノ鑛業關係トモ審議ヲ致シ
マシタ結果、此ノ線ノ開發ヲ至急ヤリタイ
ト云フコトニ結論ガ到達シタヤウナ次第デ
アリマス、ソレガ偶、一本ダケ今日迄豫定線

ニ計上シテナカッタモノデアリマスカラ、特
ニ法律ノ附屬表ヲ改正致シタイト云フノガ
只今御審議願ッテ居ル一案デアリマス
○男爵神山嘉瑞君 サウ致シマス、今後
共ニ現在敷設法ニ載ッテ居リマスル豫定線
ノ調査ヲ専門ニ遊バシテ、將來ニ於テハア
レニ載ッテ居リマスルモノガ、...或ハ言葉
ガ違フカ知レマセヌガ、全部ガ全部不急不
要ノモノバカリデモナイ、アレニ載セラレタ
以上ハ優良ナル豫定線トシテ豫定サレテ居
ルノダラウト思ヒマスガ、サウ致シマス、
之ヲ逐次小出シニ建設サレテ行ク途上ニ於
キマシテ、或ハ他方面カラアレニ載ラナイ
路線ノ請願モアルノデアリマスカラ、サウ
云フモノヲ睨ミ合セテ参リマス、時代モ
隨分變ッテ居リマシテ、昔ノ何時カノ時代ノ
ヤウニ矢鱈ニ濫設スルト云フコトハアリ得
ナイコトデアリマスカラ、シテ見ルトア、
云フ法律ノ中ニアレダケノ豫定路線ト云フ
モノヲ縛リ付ケテ居ルト云フコトハ、政府
其ノモノカラ見レバ、是ハ次第ニ建設シテ
行クンダ、幾ラアレニ載ッテ居ルモノモ差支
イト云フ御考ヲ持タレルカ知レマセヌガ、
マダアレニ載ラナイ他ノ方面ノモノガ幾ラ
モアリ、今度ノ議會ニモ相當請願シテ居ル
ヤウナ次第デゴザイマス、其ノ間ノ關係ガ
ドウナリマスガ、サウ致シマス、アノ法
律ニ載ッテ居リマスル路線ハ建設ノ順位ヲ御
決メニナッテ居ルガ、偶、今度ノ斯フ云ツタ
「マンガン」地帯ノヤウナ所ハ當然開發ノ必
要カラ建設サレルノデアリマスカラ追加サ
レルコトハ當然デアリマスガ、先程申上ガマ
シタ通りアノ法律ニ載ッテ居リマスル地點
ハ、鑛業地帯デモナイガ、地方的ニ見マシ
テ有數ナル地帯デアリ、ドウシテモ交通ノ

整備ヲ圖ラナケレバナラヌト云フ關係カラ
必要ナル線トシテ豫定サレテ居ルノダト思
ヒマスガ、只今申シマシタ通り後カラ出テ
來ルモノガ比較的早く建設サレルト云フヤ
ウナ、多少ソコニ矛盾ト申シマスカ、食糧
ヒト申シマスガ、逆ニ關係ガアルト思ヒマ
スノデ、敷設法ニ載ッテ居リマスルモノヲ全
面的ニ改正ヲ遊バサレルカドウカト云フコ
トヲ承リタイ

○國務大臣(八田嘉明君) 今御話ノ如ク此
ノ豫定線ヲ豫メ何ト申シマスカ、少クトモ
法律ノ附屬表ニ列記シテ置クト云フコトハ
實ハ色々議論ガアルト思フノデアリマス、
今日ノ國有鐵道ノ豫定線ナルモノガ決定致
シマシタノハ、今カラモウ二十年間ニナル
譯デアリマス、從テソレハ法律ヲ出タノガ
二十年前デアリマスカラ、ソレヲ法律ニ載
セル爲ニ調査研究致シマシタ時代ヲモ入レ
マス、既ニ三十年モ經過致シテ居ル譯デ
アリマス、其ノ當時ニ於キマシテモ、斯ウ
云フ線ヲ將來斯ウ云フ所ニ必要ナリトスル
見方ハアルガ、其ノ地方カラ考ヘマスルト、
何處デモ鐵道ノアツタ方ガ宜イ譯ナンデアリ
マス、デアリマスルカラ是ダケノモノガ國
有鐵道ノ上ニ將來必要ナモノダト云フコト
ヲ決メルコトハ、當時デモナカノ困難デ
アツタノデアリマスガ、ソレデヤ決メズニ置
イタラドウカト申シマス、ソレヲ今度調
査スルノニ相當時日ガ掛リマス、其ノ間ニ
ハ色々運動等モ生ズルト云フヤウナコト
カラ、寧ろ先ヅ一應或豫定線ヲ議會ニ於テ
審査ノ上決定シテ置クコトガ政府トシテハ
宜イト考ヘテ、今カラ二十年間ニ此ノ豫定線
ナルモノガ色々議論ノ下ニ兎モ角モ決マッ
タ、ソレガ今日二十年ノ間ニ大體約半分ト

云フモノハ...丁度今豫定線ヲ追加サレタ
モノヲ合セルト一萬一千「キロ」位ニナルト
思ヒマス、其ノ中ノ約半分ト云フモノハ、
政府ニ於テ開通サシタカ、今現ニ工事中デ
アルカ、或ハ民間ニ於テ私設鐵道トシテ之
ガ經營サレマシテ、兎モ角鐵道ノ形トシテ
運營サレテ居ルト云フヤウナモノガ半分デ
アリマス、今マダ残り半分ガ殘ッテ居ルノデ
アリマス、先程申シマシタノハ、其ノ半分
ニ付テ之ヲ檢討シ、更ニ追加スルモノハ追
加シ、削除スルモノハ削除スルト云フコト
ガ大體ノ落ちニナルト思フノデアリマスガ、
マア私ノ考トシテハサウ云フ意味ニ於テ矢
張り計上シテ置ク方ガ宜イデハナイカ、倍
テ其ノ順序ヲドウスルカト云フ問題ハ、五年
十年二十年ノ間ニハ隨分世ノ中ガ變ッテ参リ
マスノデ、毎年矢張り鐵道會議ニ附シマシテ、
十分ナル御審議ヲ願ヒ、鐵道省當局ニ於テ
ハ勿論十分ニ研究致シマシテ原案ヲ作リマスガ
更ニ廣イ知識ニ依ッテ御研究ヲ願ヒ、鐵道會
議更ニ議會ニ於テ御審議ヲ願ッテ行キマシ
タナラバ、大體ニ於テ其ノ時代々々ノ要求
ニ大過ナク副ウテ行クノデアリナイカ、斯ウ
考ヘルノデアリマス、今後モサウ云フ氣持
デ進ミタイト考ヘテ居ルノデアリマス、今

御心配ニナリマシタ今回ノ三線ト云フモノ
ハ、他ノモノヨリモ後カラ出テ來テ先ニ進
ムノデヤナイカト云フコトハ、御話ノ通り
デアリマシテ、之ガ現在國內ニ於テ非常ニ
要望サレテ居リマスル地下資源ノ開發ヲ目標
トシマシテ、三線ダケヲ特ニ計上致シマシ
タ、其ノ他ノ線路ニ付キマシテハ既ニモウ
着手ヲシテ居ッテ、「レール」ヲ敷ケバ直グ
地方ノ用ニ立ツモノモアリマセウシ、マダ
是カラ「レール」ヲ敷カナクチャナラヌ、其

ノ「レール」ヲソコニ使フヨリモ他ノ方ニ使フ方ガ宜イト云フ場所モアリマスノデ、色色資材勞力……其ノ鐵道ガ完成間近カデアカ、マダ竣功迄ニ相當ノ時日ヲ要スルカト云フコトヲ色々考慮シマシタ結果、今回ノ豫算ニ於キマシテハ、或モノハ既ニ既定豫算ヲ御審議ヲ願フテ居リマスニ拘ラズ、之ヲ一二年延長シ、或モノハ更ニ之ヲ繰上ゲタト云フヤウナコトガアリマシタノデアリマスガ、何レモ時局當面ノモノヲ目標ト致シタノデアリマス、併シ長イ目カラ見マスト、鐵道ヲ敷設シテ行クト云フコトハ、國內全體ノ一般産業交通ヲ都モ鄙モ同様ニ交通ノ恩惠ニ浴スベク大キナ政治經濟上ノ見地カラ計畫サレテ居ルモノト考ヘラレマスカラ、是ハ何レモ時局ニ絶エズ併行致シテ居ルモノト考ヘテ居リマス

○男爵神山嘉瑞君 了承致シマシタ

○田所美治君 是ハ少シ法案以外ニ互ル國策關係ト申シテモ宜カラウト思ヒマスガ、鐵道大臣モ御承知ノ通り、私モ時々關西地方ニ旅行シマス、近來ノマア鐵道ノ混雜ハ非常ナモノデ、アノ古イ線ガ、明治ノ初年ニ出來テ居ルト承テ居ルヤウナ線ガ、能クモアレダケノ運轉ガ出來テ居ル、感服スル方カラ云ヘバ非常ニ感服スルノデアリマスガ、其ノ代リ混雜ト云フモノハ、マア我々「パス」ヲ持ッテ居リマスカラ、切符ノ面倒ハアリマセスケレドモ、……寢臺ハ殆ドアリハシナイ、イキナリ乗ッテモ寢臺ガナイ爲ニ實ハ數回「ミス」スルコトガアルノデス、近頃ハ少シ臆病ニナッテ居リマス、今度モイケヌゾ、今度モイケヌゾト云フコトモ實ハ再三アルノデス、此ノ頃色々工夫シマシテ、準急ニ乗ッカリナンカシテ居リマス、晝ノ準急

ニ乗ッテ良イト云フノデヤツテ居リマスガ……ソレハ別トシマシテ兎ニ角今日ノ狀況デアルト云フコトニナルト、今後南洋關係モ生ジテ來ルシ、向フカラ來ル物資モ殖エマセウシ、貨物ノ關係ナドデ、九州ノ長崎アタリハ直グ想像出來ルノデアリマス、九州鐵道カラ山陽、東海道、斯ウ云フヤウナモノニ當ッテハアレダケデハ逆モ間ニ合ヒマスマイ、是ハ鐵道大臣モ御苦慮ニナッテ居ルト思ヒマスガ、ソレ等ニ對スル御考ヲ一ツ御教ヘテ願フテ幸セト思ヒマス、私共アノ混雜ヲ見テ能クアレド願フテ居リマス、或ハ之ヲ廣軌ニナサルト云フヤウナコトモ思ヒ附カレマスガ、ソレモ始終問題ニナッテ居ル、ノミナラズ費用モ掛リマセウケレドモ、費用ガ幾ラ掛ッテモヤラナケレバナラス、或ハモウ一ツ複線ヲ作ルトカ何カ方法ヲ考ヘラレサウデスガ……是ハ狹イ島國デアリマスカラ、山バカリアル國デアッテ、工事モ非常ニ困難デアリマセウケレドモ、ドウ云フ風ニ鐵道交通ノ關係ハ國策ノ上ニ御考ニナッテ居ルデセウカ、乘ッテ始終考ヘルコトナンデス、御苦慮ノ次第ハ深甚ニ考ヘテ居ルノデス、能クモ衝突モシナイデウマク行クモノダト思ヒマス、是ガ世界一ト斯ウ誇ッテ云ウテ居ル、鐵道モ世界一カイナ、ト私共教育關係デモ考ヘテ居ルノデスガ、世界一ダト云ッテモ能ク運轉スルト云フ唯技術ダケデナシニ運搬力ガ殖エナケレバ世界第一トハ云ハレナイ、是ハ差當ッテ、目下ノ既往ノ數年間ニ於テ眞劍ニ感ジテ居ルコトデアリマスガ、何方其ノ邊ニ付テ我々ノ蒙ラ啓イテ呉レルヤウナコトガオアリニナレバ此ノ際御説明ヲ願ヘレバ大變幸セト思ヒマス

○國務大臣(八田嘉明君) 國有鐵道ノ事變以來ノ旅客並ニ貨物ノ輻湊ト云フモノハ、實ハ鐵道ノ歴史初ッテ以來ノ急激ナル増加デアリマス、是ハ國運ノ急激ナル膨脹進展ニ伴フモノダト考ヘルノデアリマスガ、大體昭和十一年即チ支那事變ノ前ノ年ノ數量ト昭和十六年度ト比較スルト旅客モ貨物モ輸送力ガ倍ニナッテ居リマス、而モ其ノ倍ニナッテ居ルノハ、若シ之ヲ放置シテ置イタナラバドンドンナッタカト云フト恐ラクニ倍半ニモ三倍ニモナッタノデハナイカト思フノデアリマスガ、一方私設ノ方ノ輸送力ト既ニ合セマシテ、御承知ノ如ク輸送ノ統制ヲ致シテ居ル譯デアリマス、制限ヲ致シテ居ル、又計畫輸送ト云フヤウナコトニ依リマシテ、各關係方面ト連絡致シマシテ、貨物ニ付キマシテハ所謂軍需輸送ハ勿論デアリマスガ、軍需ノ産業デアルトカ、生産力擴充計畫ニ要スルモノデアリマスルトカ、或ハ又國民生活必需品ノ輸送デアルトカ、現下ノ時局トシテ、國家ノ必要ノ上ニ已ムヲ得ナイ物ノミヲ優先的ニ取扱ヒマシテ、他ノ物ハ之ヲ抑制若クハ禁止ヲ致シテ居ルコトハ他ノ物資ニ對スル統制ト同ジ様ニ並行致シテ居ル譯デアリマス、又旅客ニ付キマシテハ以前ハ團體ヲ獎勵シタリ或ハ遊覽客ヲ進シテ鐵道ノ方カラ誘引シタ譯デアリマスガ、今日デハ絕對サウ云フコトヲ止メタノミナラズ寧ろ場合ニ依ッテハ必要ト思ハレル旅客ヲモ抑制若クハ禁止シテ居ルト云フヤウナ状態デアッテ、尙且ツ二倍ニナッテ居ルト云フ驚クベキ情勢デアルノデアリマス、之ニ對シマシテ輸送力ハドウナッテ居ルカト申シマス、大體一口ニ申シマスルト三割カ良クッテ五割ノ設備シカ増加シ

テ居ラナイ、五割進行ッテ居ルモノハ先ツザイノデアリマシテ、大體先ヅ三割位ノ設備シカ出來テ居ラナイ、何故出來テ居ラナイカト云フト、ソレハ假ニ此處ニ人ガアッタトシマシテモ、鐵道ノ施設ハ半年カ一年デ急ニ其ノ設備能力ヲ増スト云フコトハ御承知ノ通り出來ナイ性質ノモノデアリマス、況ンヤソコヘ持ッテ行ッテ、資材勞力等ノ制限ガゴザイマスノデ、思フヤウニ施設ガ出來ナイ、デアリマスカラ旅客貨物ガ制限ヲシテ居ルニ拘ラズ倍加シテ居ル、施設ノ方ハ之ニ反シテ思フニ委セナイ、恐ラク三割カ四割ノモノデアラウト考ヘマスガ、ソコデアリマスカラ勢ヒ又輸送ナルモノガ統制サレル、又計畫化サレテ行カナケレバナラスノデアリマシテ、此ノ情勢ハ今後暫ク續クト考ヘマス、ソコヘ持ッテ行ッテ、今回ハ大陸ノ大キナル交通ハ勿論續キマスルシ、其ノ外ニ南方ノ新シキ海ヨリスル所ノ交通運輸ト云フモノガ又増加シテ居ルカラ、是ハ大東亞戰爭ノ、及其ノ大東亞建設ノ進シデ參リマスル段階ニ依ッテ、其ノ交通ノ質ト量トガ趣ヲ異ニシテ來ルト考ヘルノデアリマスガ、其ノ段階ニ應ジマシテ、國內ノ諸交通機關、陸上交通機關ト云フモノハ之ニ既ニマシテ遺憾ナキヲ期サナケレバナラヌト存ジマシテ、今カラ實ハ鐵道省ト致シマシテモ、十分ナル之ニ對シテ考究ヲ怠ッテ居ラスノデアリマス、而シテ大東亞ノ共榮國建設、即チ建設ナルコトハ昨年ノ十二月八日ヲ以テ、始マッタノデゴザイマセズデ、モウ支那事變ガ始マルト同時ニソノコトガ我國ノ目標トナッテ居リマスカラ、從ヒマシテ國有鐵道ニ於キマシテ、モウ過去ニ於テ既ニ其ノコトニ對シテハ準備ヲ致シテ參ッテ

居ルノデアリマスガ、今後ハ更ニ現實ニ目
ノ前ニ急速ニサウ云フコトガ展開致シマシ
タノデ、此ノ實施ハ力ガ一層強力ニ加ラナ
ケレバナラヌト考ヘテ、今專ラ實ハ考慮ヲ
拂ッテ居ル次第デアリマス、如何ナル變化
ガ生ズルカト云フコトハ、是ハ海ノ方ノ遞
信省御關係ノ方ニ主トシテナル譯デアリマ
スルガ、陸ノ方ハ之ヲ受ケマシテ、サウ
シテソレヲ目的地ニ到達サセ、又或地點カ
ラ或港ヲ經テ、南方及大陸ノ方ニ最モ迅速
ニ確實ニ到達スルヤウナ風ニ必要ナル施設
ヲ、今日現狀ヲ再檢討致シマシテ完璧ヲ期
サナケレバナラヌト思ヒマス、而シテ海ト
陸トノ接續地點、港ト云フノゴドウ云フ地
點ニ決定サレマスルカ、凡ソ南ノ方ノ開ケ
マシタル今日ニ於キマシテハ、今日迄トハ
多少接續地點モ自ラ違ッテ來ルヤウナ所モ
相當アルノデハナイカ、然ラバ其ノ地點ニ
於キマシテ此ノ陸上背後ノ鐵道交通ト云フ
モノヲ改善シナケレバナラヌモノモ多々ア
ルデアラウト思ヒマスルシ、又港灣ニ於ケ
ル連絡船、連絡鐵道並ニ其ノ陸上荷役等ニ
於キマシテモ、其ノ施設ヲ鐵道省トシテモ
十分ニ海トノ綿密ナル連絡ヲ保チツ、施設
シナケレバナラヌコトヲ豫期致シテ今色々
ト工夫ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、
ソレカラ只今御話ノアリマシタ新幹線ト云
フモノニ付キマシテハ、是ハ日本ノ國內ヲ
縱ニ縱貫的ニ流スト云フコトニ相成ルノデ
アリマスガ、ドウシテモ是ダケデハ如何ニ
縦ノ線ヲ複線ニシ、複々線ニシ更ニ線路ヲ
倍加致シマシテモ、是ハナカク應ジ切レ
ナイト私ハ平生考ヘテ居ルノデアリマス、
從ッテ之ヲ出來ルダケ海ノ方ヘ成ベク早く
横ニ取ルト云フコトガ日本ノ輻湊スル自然

ノ増勢、旅客貨物ノ縦ノ流レト云フモノヲ
緩和スル唯一ノ方法デアラウト考ヘマス、
之ニ關シマシテハ、自然港ト云フ問題ガ大
陸及南方ニ對スル港ノ問題、而シテ之ニ對
スル鐵道ノ考ヘ方ト云フモノガ自ラ決ッテ
參ルト思ヒマスノデ、特ニ鐵道省トシテハ、
今後サウ云フ點ニ力ヲ入レタイト考ヘテ居
ルノデアリマス、其ノ際、港ニ於ケル所謂一
番狭ク隘路ニナッテ居リマスル點ハ、十分ニ
是ハ遞信省ニ於テモ御考デアリマスルガ、
鐵道省トシマシテハ、陸上ニ關スル限リハ
十分ナル荷役施設ヲ機械化シ、ソコデ此ノ
輸送力ガ停頓シ、若クハ細ク縊ラレルコト
ノナイヤウニ努メタイト考ヘテ居ル次第デ
アリマス、尙計畫輸送及統制ト云フモノガ
如何ニ效果ガアルカト云フコトハ、毎年隨
分年末年始ニ於テハ、旅客ノ例ニ取リマシ
テモ、貨物ノ例ニ取リマシテモ、隨分各主
要驛ト云フモノハ混雜致スノデアリマスル
ガ、此ノ計畫輸送及統制、此ノ統制ニハ鐵
道ノ發着ノ貨物ヲ小運送ノ統制ニ依リマシ
テ、之ヲ早く荷捌キヤスル、又早く車ニ積
ムト云フヤウナヤコトノ初メテノ良イ經驗
ヲ得タノデアリマスルガ、各驛ノ報告ニ依
リマスルト、非常ニ例年ニ比シマシテ好イ
結果ヲ來シテ居ルト云フコトヲ申シテ居リ
マスルノデ、茲ニ計畫輸送、ソレカラ陸上
ノ所謂陸運統制ト云フモノガ、「レール」ノ
上バカリデハナシニ、「レール」ノ外ノ小運
送全體ヲ一緒ニ考ヘマシタ輸送統制ト云フ
モノガ、如何ニ今日缺クベカラザルモノデ
アルカト云フコト、サウシテソレガ誠ニ效
果的ノモノデアルト云フコトヲ如實ニ最近
體驗致シタヤウナ次第デアリマスルノデ、
只今申シマシタ軌上即チ鐵道ノ上ノ輸送、

サウシテ是ト海トノ連絡ハ只今申上ゲマシ
タガ、今度驛カラ國內ノ各地點、即チ小運
送ト云フモノニ付キマシテ、今日鐵道ハ之
ヲ統制スベク力ヲ入レテ、既ニ第一次統制
ヲ終リマシテ、第二次統制ヲ今行ッテ居ル
ノデアリマスルガ、是ハ相當困難ナ問題デ
アリマスルガ、又隨分地方ノ事情ニ依リマ
シテハ、歴史モアリ、又實情ニ依ッテ色々
ト困難ナ問題モアリマスルガ、斷然之ヲ一
ツ統制ヲ完遂致シテ、只今御話ノヤウナ
御心配ニ對シテ、十分最小ノ設備ヲ以チマ
シテ最大ノ效果ヲ擧ゲ得ラレマスヤウ努力
致シタイト今心配致シテ居ルヤウナ次第デ
アリマス、一應御答ヘ致シマス

○田所美治君 マダ少シ時間モゴザイマス
ルカラ御教ヘヨ乞フ爲ニ少シ伺ッテ置キマ
スガ、鐵道大臣ノ御説明デ御考ノアル所ハ
マア能ク分リマシタガ、是ハ實ハ焦眉ノ急
デ、總テガ武動ノ赫々タル戰果ヲ擧ゲテ居
ル今日デアリマスルカ、建設ト云フ事業ガ
實ハ總テノコトニ差迫ッテ來テ居ル、斯ウ言
ハナクチヤナラス、サウ云フ風ニ考ヘテ今
カラシテモナカク、長イ期間ヲ要スルダラ
ウト思ヒマスルガ、是ハ一日遲レテ行ケバ、
折角ノ武動ノ結果モ空シクスル、斯ウ云フ
コトニモナルノデアリマスルカラ、今日ハ
遞信大臣ガ丁度オイデニナッテ居リマスル
カラ、海運ノ關係ニ付テモ矢張り鐵道ト同
ジヤウニ一應御教ヘテ受ケレバ幸ヒグト存
ジマスガ、一ツ倍程殖エテ居ル輸送ヲ三、四
割位デヤッテ居ル、斯ウ云フ御話デアリマシ
タガ、今ソレデ現在ニ對シマシテ滯貨デス
カ荷物ガ滯ルトカ云フヤウナコトハ現在ノ
狀況ニ於テハ色々統制ソレカラ計畫輸送、
斯ウ云フ御話ガアリマシタガ、ソレハ效果

ノ著シイモノガゴザイマセウガ、サウ云フ
コトデ滯貨ナシニ現在ノ所ハ行ッテ居リマ
スカ、斯ウ伺ッテ見ヨウト思ヒマスガ、現在
ヨリ殖エテ參リマセウ、ウント殖エテ參ル、
又期年ナラズシテ倍加スルダラウト、斯ウ
思ヒマスガ、ソレニ對シテ縱ダケデナシニ、
横ニ港灣ノ關係、船ノ輸送ノ關係ト云フモ
ノモ、聯繫ヲ保ッテ行ク、サウナラナクチヤ
リマスマイ、小サナ島國デ細長イノデア
カラ、此ノ儘サウ復線々々ト言ッテ處デ、無
暗ナコトモ出來マスマイ、差當リ考ヘラレ
ルノハ、アノ海岸ヲ傳ハッテ下關ニ行ク位ノ
所ハ何トカ此ノ輸送力ノ方ノ側ヲ、色々ノ
計畫ヲ運輸ノ方ヲ無論御ヤリニナルトシテ、
是ハモウ御著手ニナッテ居ルト云フノデモ
遲イト云フ位ニ、今日ノ目前ノ戰後經營ト
云フコトニ對シマシテハ、思ハレルノデア
リマスガ、何カ具體的ニアレバ廣軌ニスレバ、
ドレダケ増スト、一倍半位ニナルトカ、無
論ニ倍ニスレバ二倍ニモナルノデアリマス
カラ、サウ云フヤウナ所迄モウ御研究、御
決定ニナッテ居ッテ宜カラウト考ヘルノデア
リマスガ、或ハ費用ノ關係、軍部トノ關係
ニ於テ遲レテ居ルカモ存ジマセウガ、ソレ
モソレデ十分ニ御ヤリニナラヌト云フト、
造船ノ關係ガ、是ハ私モ遞信大臣ノ御承知
ノ通り、少シ關係シテ居リマシタガ、迎モ
ウマク行キマスマイト思ヒマスルカラ、船舶
ダケデハ足ラス、アレバ廣軌ニ仕直スト云
フヤウナ、是ハ承ルコトガ出來ルカ出來ヌ
カ分リマセウケレドモ、何カソコラニ付テ
モ、具體的ニ御案出ニナッテ居ルコトガゴザ
イマスカ、斯ウ伺ッテ見ヨウト思ヒマス、私
ハ非常ニ憂慮スルノデス、俗ニ言フト、砂
糖ハドンク取レル、「フィリピン」ノ砂

糖モ來サウナモノダト、斯ウ國民ガ待ツテ居ル、ソレハ待ツ者モ理窟ガアリマセウ、ソレカラ砂糖ハ宜イカモ知レマセウケレドモ、ソレハ船ガナイ、假ニ歸リ船デ多少輸送シテ來テモ、ソナモノノガ、パアット陸ニ來レバ、鐵道ノ輸送モ亦困ル、斯ウ云フ關係ガ必ズヤ戰時經營ヲナサツテ、今ヤツテ御イデナサルト思フノデアリマスガ、是ハ所謂建設ト云フコトデ行政トシテハ一番先ニ一ツ御ヤリニナラナケレバナラス、モウ今年ノ豫算ニ其ノ御計畫ガアツテ宜カラウト思フ位ニ考ヘマスガ、其ノ船ノ方ノ關係モ、是ハ私モチヨット知ツテ居ル關係デ、ナカク容易デナイ、分捕リ船ガ澤山出來テ、ソレガ直チニ利用出來レバ宜イガ、造船ト云フコトハ、造船所ノ少イ所ニ軍用船ヲ造ラナケレバナラス、又軍艦等ノ關係ニ付テナカク忙シイ所ニ、輸送船ヲ増スト云フコトハナカク困難ト思ヒマス、ソレガ爲ニ所謂戰果ヲ全ウシナイ、斯ウ云フコトニナツテハ遺憾千萬ト存ジマス、色々文化ヤ教育ノ施設、ソレハ如何ニモ伴ツテ參リマセウケレドモ、一番先ニ國民生活或ハ此ノ國威ノ擴充、東亞ノ建隆ト云フコトノ最初ノコトニ付テ、鐵道ト船舶ガ必要デアル、コンナニ考ヘマスガ、何かモウ具體的ニ御進メニナツタ程度ニ達シテ居リマスカ、又御ヤリニナツテハドウカト思ヒマス、是ハ八田君ガ丁度鐵道大臣デ居ラレル、是コソモウ多年ノ御關係デ十分御分リニナツテ居リマスカラ伺ヒタイ

モナク相協力シテ今日迄モ致シテ居ル譯デアリマス、是ハ申ス迄モナイコトデアリマサルガ、大體石炭トカ、或ハ鑛石トカ云フヤウナ原料素材ト云フヤウナモノノ遠距離輸送ハ、大體海ニ沿ウテ船デ運ブト云フコトガ無論主ニナツテ居ル譯デアリマス、ソレカラ鐵道ハ之ニ協力致シマシテ、海陸相呼應シテ我ガ國ノ内外ノ運輸ニ支障ナカラシメルト云フコトガ原則デアルノデスガ、近年ノ船ノ海上ノ色々十分デナイト云フヤウナ關係カラ致シマシテ、サウ云フ石炭ト云フヤウナモノガ、從來海上ニアッタモノガ陸ノ鐵道ニ移ルト云フ場所モ或ル程度アルノデアリマス、ソレニ對シマシテハ鐵道ト致シマシテハ、其ノ連絡港灣ト鐵道ト云フモノノ關係ニ付キマシテハ、今回ノ豫算ニ於キマシテモ、相當施設ヲ御要求致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、從ヒマシテ先程申上ゲマシタ以外ニ、或物ハ海カラ陸ニ移ツテ來タト云フモノモ相當アルノデアリマス、之ニ對シマシテハ、海陸協力ト云フ其ノ原則ニ基キマシテ、鐵道ト致シマシテハ十分ナル協力ヲ致シマスルヤウニ努メテ居ルヤウナ次第デアリマス、ソレデ從ヒマシテ、斯ノ如ク今後ニ於キマシテハ、陸上ノ輸送ガ非常ニ更ニ増シテ參リマス際ニ於キマシテ、施設ノ方ハドウカト申シマスルト、先程申上ゲマシタ通り車輛ニ致シマシテモ、或ハ其ノ軌道ノ方ノ輸送力ニ致シマシテモ、決シテ十分デハナイノデアリマス、唯計畫輸送及統制ニ依ツテ、初メテ大過ナク行ツテ居ルト云フノガ現狀デアリマスノデ、今後ニ於キマシテハ鐵道ノ施設改善、即チ鐵道改良ト云フモノヲ今後大イニ致サナケレバ、到底輸送サルベキ陸上輸送ニ對シテ、

應ジテ參ルコトガ出來ナイト考ヘマシテ、今回ノ豫算ニモ改良費ニ力ヲ入レマシテ、提案致シテ居ルト云フヤウナ次第デアリマス、併シナガラ此處暫クノ間ハ何ト申シマシテモ、鐵鋼、或ハ其ノ他ノ資材ニ於キマシテ、鐵道ハ御承知ノ如ク鐵鋼ニハ實ハ施設ガ出來ナイ性質ノモノデアリマスルノデ、此ノ點ニ付テ今制約ヲ受ケテ居リマスルノデ、是モ遠カラズ必要トスル所ノモノハ、今日ヨリヨリ多ク獲得スルコトガ出來ルト云フコトヲ豫想致シマシテ、今カラ餘リ鐵鋼等ニ對シマシテ、資材ニ對シマシテ、今少クテモ、ソレニ對シマシテ必要ナル他ノ施設ヲ致シテ居ルト云フノガ現狀デアリマス、一例ヲ東京下關間ノ新幹線ニ取リマシテモ、主トシテ今日全體ノ竣功期ヲ抑ヘル所ノ長イ「トンネル」、長イ隧道、ハ土工デアリマスカラ鐵鋼ナドハ要ラナイ、ソレカラ用地ノ買收デアルトカ、大キナ土工、切取トカ盛土ト云フ所ニ最初掛リマシテ、全體ノ工期ハ遅レナイヤウニ致ス今計畫ヲシテ居ル、大體他ノ方ノ計畫モ左様ナ積リテ致シテ居ルト云フ已ムヲ得ナイ狀態デアリマス、將來ノ鐵道ノ施設ニ對シマシテ、或ハ之ヲ複線トシ、複々線トシ、又車輛ノ整備ト云フヤウナモノニ付キマシテハ、抜目ナク十分ナル計畫ヲ建テ、行キタイト思ヒマス

○田所美治君 素人が申上ゲル迄モナク、ソレコソ本當ニ生エ抜キノ技術ノ方ノ側モ、行政ノ方ノ側モ練達堪能ノ大臣ガ居ラレマスノデ安心致シマスガ、一層ノ御盡力ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、遞信大臣ニ序ナガラ御教ヲ願ヒタイトデアリマス、日本ノ船ハマダ千萬「トン」ニモ達シテナイ、數百萬「トン」位デアラウト思ヒマスガ、マア今度ハ外國ノ船ハ大分打壞シマセウカラ、向フヲ弱ラスコトハ出來マセウ、又戰等ガ弛ンデ來レバ、其ノ船ハ内地ノ用ニ供スルトカ、内外地關係ニ供スルトカ、國民生活ノ確保ニ用ヒラレルト云フヤウナコトニナリマセウ、生産擴充ト云フ方ニ行カウト存ジマスルケレドモ、造船ノ關係ハ遞信大臣御自身モ多年御經驗デゴザイマセウガ、我が知ツテ居リマス數箇所シカ造船所ガナイト思ヒマスガ、之ガドウ云フヤウニナツテ參リマスルモノデアリマセウカ、マア當分ノ間ハ矢張り軍事關係ノ造船ヲ鏡クヤラナクチャナラス、民間ノ造船所モ大半ハマダ將來ニ互リマシテ一層其ノ力ヲ其ノ方ヘ使ハナケレバナラスト云フヤウニモ思ハレル、今鐵道大臣カラ鐵ノ關係等ニ付テ色々御話ガアリマシタガ、造船所ノ擴張ト云フコトニ付テハ直グニハ出來ナイト思ヒマスガ、是等モドウシテヤツテ居ルノデアリマスカ、ナカク意ノ通りニ商船ヲ造ツテ行クト云フコトニ力ヲ伸バスコトハ、今日トシテハ餘程困難デアラウ、コンナニモ考ヘアルノデアリマスガ、或ハ占領地、ソレモ御承知デアリマスレバ御教ヘテ願ヒタイトデアリマスガ、占領地ノ方ノ造船所ト云フモノハ據ルベキモノガゴザイマセウカ、ソコヲ利用シマシテ日本ノ造船ノ用ニ供セシメルト云フコトガ、近ク役立チ得ルモノデアリマセウカ、資材モ其ノ近所デ取レル、鐵材、木材ヲ取ツテヤルト云フコトハドウ御考ニナツテ居リマセウカ、サウ云フコトガ出來ル事實ガアリマセウカ、御伺ヒ致シタイト思フノデアリマス、要ハ鐵道ノ計畫ニ付テ伺ヒマシタヤウニ、其ノ邊ノ所ガドウ云フヤ

ウニナッテ参リマセウカ、向フノ船ヲ打壞シテ、戰ニ勝ツト云フ方ノ、破壞ノ方ノ目的ニ時々刻々皇軍ハ努メテ居リマス、一方ニ於テハ船ヲ造ルト云フコト、ドウシテモ千萬「トン」ニマダ足ラヌ、數百萬「トン」位デ行ケルモノデハ到底ナイ、其ノ邊ニ付テ伺ヘルダケノコトヲ御教ヘテ願ヒタイ

○國務大臣(寺島健君) 船舶ノ建造ヲウシトヤラナケレバナラヌト云フコトニ付テハ、

全國民皆ノ御考ヲ戴イテ居リ、今議會ニ於テモ此ノ點ハ特ニ衆議院ニ於キマシテ屢、申述ベテ居ル所デアリマス、御説ノ通り資材勞力……又此ノ大戰争ガ如何ニ赫々タル戰果ヲ擧ゲテ参リマシテモ、相手ノ米英ニ對シテハ、海軍軍備ノ手ヲ抜クト云フ狀況ニハナラヌト云フコトモ勿論考ヘテ居リマス、此ノ間ニ處シマシテ商船、特ニ貨物船ノ急速ナル建造ヲ圖ルト云フコトニ付キマシテハ、非常ナ苦心ノ要ルコトハ御説ノ通りデアリマスガ、此ノ苦心ヲ排除致シマシテ、此ノ數年來ニ出來テ居リマシヤウナ造船量ヨリハ遙カニ大ナル造船計畫ヲ樹テテ居リマス、是ハ必ズ實現シテ御覽ニ入レマス、其ノ數字等ハ此處デ申上ゲルコトハ出來ナイノデアリマス、其ノ點ハ一先ゾ御安心願ヒタイト思フ、併シ御説ノ通り造船ヲ急速ニヤルト云フコトハ、資材又勞力等ニ依リマス工程ノ關係上「バラック」ヲ建テルヤウニ簡單ニ數箇月デ造ルト云フ譯ニハ参リマセヌノデ、是ニハ計画的ノ造船ヲヤッテ行カナケレバナラヌ、併シ戰時ノ用ニ供スル爲メ、所謂戰時急造船、是モ狸ノ泥舟ヲ造ルノデアリマセヌ、運航能率ノアル、而モ一日モ早く出來、「トン」モ資材ヲ少クシ、「トン」モ積荷ヲ多クストル云フ標準型ヲ決定シテ居

リマシテ、之ニ基キテ建造ヲヤッテ行キマスカラ、先程申上ゲマシタヤウニ數字ハ申上ゲラレマセヌガ、ココ數年來ヨリ遙カニ大量ナル造船ヲ實行シテ行ケルト云フ確信ヲ持ツテ居リマス、サウ致シマシテモ御説ノ通り海運ノ輸送力ハ餘ル譯デアリマセヌ、斯ノ如キ戰争ノ起ラナイ時ニ於テサヘ、船舶ノ増強ト云フコトガ我が國運ノ進展ノ爲ニ必要デアルト云フコトハ識者ノ齊シク認メタ所デアリマス、況ヤ戰時ニナリマシテ、軍用船ノ殖エルト云フコト、戰局ノ大キナコトカラ考ヘマシテ、是モ何人モ分ル所デアリマス、其ノ残りヲ以テ一般ノ重要物資及ビ生活必需品ノ輸送ニ當テ居ルノデアリマス、「トン」一隻ト雖モ急造シナケレバナラヌ、此ノ意味ニ於キマシテ鐵材ノ如キモ船舶ニハ最モ優先的ニ配給ヲシテ貰フコトニナッテ居リマシテモ、未ダ十分ダト云フ譯ニハ参リマセヌ、從ヒマシテ木造船等モ大イニ獎勵ヲシテ、有ラユル手段ヲ盡シマシテ造船ヲヤッテ行カウ、是ニハ占領地ノ造船所デ造ラセルカト云フヤウナ御尋ガアリマシタガ、既ニ占領シタ所モ今後占領セムトシツ、アル所ニモ、大キナ船渠等ハアリマス、今迄ノ所ノ占領地帯ニ於ケル船渠ハ大シク破壞ヲ受ケテ居ラヌト承知シテ居リマス、ケレドモ元々是等ノ南方地域ニ於ケル造船所デハ、大キナ造船ハ從來トシテモヤッテ居ラヌノデアリマス、主ニ修繕デアリマス、此ノ修繕ト云フコトモ亦ナカク設備ガ要ルノデアリマス、幸ニモソレ等ノ船渠ヲ利用出來ルト云フモノニ付キマシテハ、極力今後利用シテ行キタイト思ヒマスガ、占領地内ハ今日ハ軍政ヲ行ッテ居リマスルノデ、其ノ機關ニ依ッテ同方面デ利用出來

○田所美治君

サウ云フ御説明デ宜シウゴザイマス、數字ヲ伺フ必要ハアリマセヌ、チヨット伺ッテ見マセウガ、此ノ遞信大臣ノ計畫ト云フモノノ中ニハ、商船ヲ造ルノニ、政府ハ官設ノ造船所デモ御造リニナルト云フ御考デモアリマスカ、斯ウ伺ッテ見タイト思ヒマス、今ノ民間ノ三菱、或ハ神戸ノ造船所トカ、其ノ他三四大キナヤツガアリマスガ、ソレハマア多クハ戰時中ニハ軍艦ノ方ノ側ニ從事シテ居ラウト思ヒマス、併シソレダケデハナカク「資材ガアリマシテモ、マダ今ノ急ニ應ズルコトガ困難デアリマスカラウカト想像スルノデアリマスガ、今迄ハ軍艦ノ方ノ製造ハ海軍ノ方デ造ル、是ハ民間ニ餘地ガアレバ小サナモノハ造ラセムルコトガ出來ルカモ知レマセヌガ、此ノ數年來事變ノ前ニハ不況デゴザイマシタカラ、軍艦ヲ漸ク經營ヲ維持シテ居ッタヤウナ譯デアリマス、ソコヘ持ッテ行ッテ此ノ普通ノ商船ノ方ノ側ノ製造ハ誠ニ餘裕ガ少イノデヤナイカト斯ウ考ヘルノデアリマス、又現下ノ狀況ガ續クモノデアリマスレバ、直グニソレニ轉換スルト云フ譯ニハ行カヌ、斯ウ思ハレマスガ、今仰シヤツタ安心シテ宜シイト云フ大キナ御計畫ノ中ニハ何カ一ツ政府ノ官設ノ造船所ヲ御造リニデモナルト云フコトニ迄御考ヘニナッテ居リマスカト、マ

ア斯ウ伺ッテ見タイト思フノデアリマス、ソレカラ木船ノ御話ガゴザイマシタガ、私ハ木船デアレバ宜イデヤナイカト直グニ考ヘ著イテ語り合ッタコトガゴザイマシタガ、當局ニハ其ノ氣ガナイサウデ、ナカク「一萬「トン」トカ、五千「トン」トカ云フヤウナ大キナ木船ヲ造ルト云フコトハ思ヒモ依ラヌ、山ヲ根コソギニ幾ツ伐ッタデアリハセヌト、斯ウ云フヤウナ御話モ聞クノデアリマス、成ル程昔ノ千石船ト云ッタ所デ、數十「トン」カ百「トン」位ノモノデアリマセウカラ、其ノ方法ヲ今日ニ當嵌メル譯ニモ行カナイト聞カサレテ、サウカイナト云フヤウナ譯デ、素人ノ話トハナカク「差ガアル譯デアリマスガ、併シ無論サウ云フモノト相俟タナケレバナリマスマイ、木船ナドヲ考ヘマスト、直グニ南ノ方デハ「チーク」ガ澤山出來ル、向フノ造船所ヲ利用スルト木船モ出來ハシナイカト斯ウモ考ヘマスガ、其ノ邊ニ付テ私共多少關係ヲ持ッテ居リマシタカラ、實ハドウシテ行クダラウト、斯ウ案シテ居ルヤウナ譯デアリマス、百方御考案ヲ爲サリ、御計畫ハ立ツダラウト思ヒマスガ、單刀直入ニ申上ゲマスレバ、政府デ一ツ大キナ造船所ヲ御造リニナッチャドウダラウカ、其ノ御計畫ガゴザイマスカト、斯ウマア伺ッテ見タイト思ヒマス

○國務大臣(寺島健君)

色々御心配ヲ戴クコトハ我々ニ於テモ誠ニ感謝ニ堪ヘナイノデアリマス、緩ク御話スレバ一時間デモ二時間デモ御話シマスガ、今ノ重點ヲ御置キニナツタ、政府ニ造船所ヲ官有ノモノデモ造ッテヤルカト言ヒマス、サウ云フ考ハ持ッテ居リマセヌ、全國ノ主ナル造船所デ三箇所位ト仰セデアリマシタガ……チヨ

ト速記ヲ止メテ載キタイ

○委員長(子爵清岡長言君) 速記ヲ止メ

テ……

○委員長(子爵清岡長言君) 速記ヲ始メ

テ……

○田所美治君 遞信大臣ハ海軍ノ方ニ御關係ノ深イ御方デアリマスシ、又民間ノ造船所ノ方ニモ御關係ニナツテ居リマシタカラ、ソレコソ鐵道大臣ト相俟ツテ交通機關ヲ全ウスルニハ遺憾ナイ適任ノ御方ダト思ヒマス、今ノ御話ニ依ツテ後ノ細カキ具體的ノコトハ伺フコトガ出來ナイガ、ドウゾサウ云フヤウニ御實現ヲ願ヒマス

○委員長(子爵清岡長言君) 他ニ御質疑ハゴザイマセヌカ……御質疑ガナイヤウデゴザイマス、是デ此ノ四案ノ質疑ヲ終リマシタ、此ノ四案ヲ一括致シマシテ、討論ニ入りタイト存ジマス、御意見ノアル方ハ御發表ヲ願ヒマス

○田所美治君 先輩ノ御方ヲ差措イテ申上ゲマスノハ何デゴザイマスガ、私ハ色々素人デ分ラヌコトヲ御尋ネ致シマシタガ、案ソレ自身ハ誠ニ簡單ナモノデ、簡明ナモノデアリマスシ、影響スル所ハ財政上、又色々ノコトニ關係ハ廣ウゴザイマスケレドモ、内容ニ付テハ、此ノ時局ニ對スル貢獻ト又ソレニ伴ウテ内容ノ擴充ト改善ヲ目的トシテ居ルヤウデアリマス、結構ナ思ヒ著キダラウト考ヘマス、何等四案トモ異議ゴザイマセヌ、原案ニ賛成致シマス

○委員長(子爵清岡長言君) 他ニ御發言ハゴザイマセヌカ……討論ハ終結致シマシタ、是ヨリ採決ニ入りマス、郵便法中改正法律案外三件ハ全部政府原案通り可決致シ

テ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵清岡長言君) 御異議ナイト認メマス、是ニテ四案ハ全部全會一致ヲ以チマシテ可決ニ相成リマシタ、本委員會ハ是ニテ終了致シマシタ、散會致シマス

午前十一時二十八分散會

出席者左ノ如シ

- 委員長 子爵清岡 長言君
- 副委員長 男爵神山 嘉瑞君
- 委員 公爵二條 弼基君
- 子爵仙石 久英君
- 田所 美治君
- 堀 啓次郎君
- 中島德太郎君
- 片倉兼太郎君
- 永瀨 寅吉君

國務大臣

- 遞信大臣 寺島 健君
- 鐵道大臣 八田 嘉明君

政府委員

- 遞信次官 手島 榮君
- 遞信省郵務局長 遠藤 後一君
- 遞信省電務局長 中村 純一君
- 遞信省管理局長 景山 準吉君
- 遞信省工務局長 松前 重義君
- 貯金局長 伊勢谷次郎君
- 鐵道次官 長崎惣之助君
- 鐵道省監督局長 佐藤 榮作君
- 鐵道省建設局長 小林 紫朗君

昭和十七年二月五日印刷

昭和十七年二月六日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局